

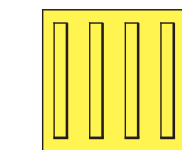
しょうめんがい なか 商店街やまちの中で

まちにでかけた**せたち**。白い杖を
使っている人に出会いました。自転車
にぶつかる！**思わず**声をかけました。

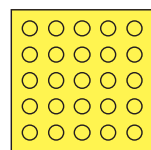


しかく しょうがい
視覚に障害のあるめぐみさんを、
えき あんない
駅まで案内することになりました。

しかく しょうがい
まちで視覚に障害の
ひとであ なに て
ある人に出会ったら「何かお手つだいしましょうか」と、
きがる こえ
気軽に声をかけてください。びっくりするので、
かた
いきなり肩をたたいたりしないでね。



せんじょう
線状ブロック
いどう ほうこう しめ
移動の方向を示す



てんじょう
点状ブロック
ちゅうい ばしょ しめ
注意する場所を示す



うえ じてんしゃ
ブロックの上に自転車や
かんばん ぜったい お
看板などを絶対に置かないでね。

なか こうきょうしせつ ちか きいろ
まちの中や公共施設の近くにある黄色いブロック。
しかく しょうがい ひと つか ゆうどうよう
視覚に障害のある人が使う誘導用のブロックです。

◆視覚に障害のある人は、こんなことに困っています◆

- 歩道と車道の段差がまったくないと、知らないうちに車道に出てしまい、危険です。
- 歩道にとび出た生け垣の枝、駐車している自動車のはね上げ式の後部ドアなど、白杖で確認できない障害物は危険です。
- 建物の入口や階段でチャイムなどの音が出ていると安心。でも、場所によって音がまちまちで、何のための音かわからないと使えません。
- 道をたずねたくても、近くにどんな人がいるかわからないので、話しかけにくいのです。



だんさ 段差について



ほどう しゃどう だんさ しかく しょうがい
歩道と車道の段差は、視覚に障害のある人にとって大切な目印です。しかし車いすを使っている人などには困りものです。世田谷区では、おたがいの立場を考えて、だんさ 段差を2cm以下としています。

み くふう まちで見かける工夫やとりくみ



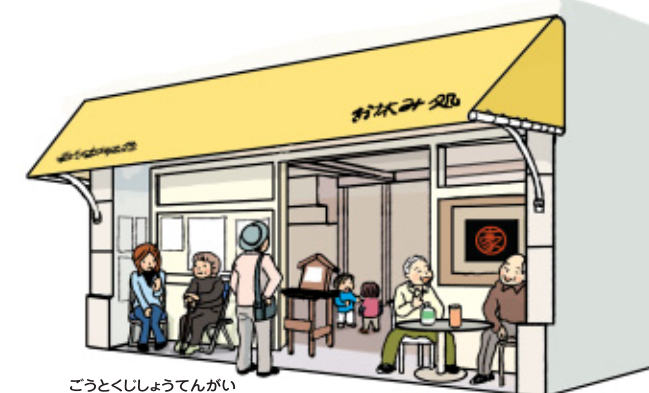
ほじょけん もうどうけん ちょうどうけん かいじょけん ひと
補助犬(盲導犬、聴導犬、介助犬)をつれた人でも
はい は みせ
入りやすいようにシールを貼ったお店があります。

みせ てだす
お店の人の手助けがあると
ひとりでも買ひ物ができます。



どうろ みせ だんさ
道路とお店の段差がなく、ベビーカー
くるま つか ひと
や車いすを使っている人など、だれも
はい しょうてんがい
が入りやすいようにしている商店街も
あります。

しょういんじんじゃとお しょうてんがい
(松陰神社通り商店街)



ごうとくしょうてんがい
(豪徳寺商店街)



やす ばしょ つか ひと
ベンチや休める場所があると、疲れやすい人、
としよ あか ひと
お年寄りや赤ちゃんをつれた人などは
たす
助かります。

めいやくとお
(明薬通り)



えき
ぶじ、駅につきました。
どうもありがとう。
とても助かりました。

